

予算事業別事務事業評価シート【対象年度：H29年度～H30年度】

部等名	課等名	係等名
政策イノベーション部	科学技術振興課	企画調整係(平成29年度)

会計	款	項	目	事業	予算事業名
01	04	01	07	25	環境モデル都市の企画調整に要する経費

要する経費全体	事業実施コスト	H28年度決算	H29年度決算	H30年度当初	H31年度当初
	総事業費	0千円	5,040千円	0千円	0千円
	総人件費	0千円	7,837千円	0千円	
	総事業コスト	0千円	12,877千円	0千円	

事務事業名	01	環境モデル都市アクションプラン進行管理事業	指標名	進捗状況の把握率(国からの評価)					指標種別	成果指標	指標の概要	つくば環境スタイル“SMILe”に掲げられた32施策に対する進捗状況の把握率。
			目標値	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度		
戦略プラン	-	-	-	100%	100%	100%	100%	100%	-	-		
	-	-	-	実績	100%	100%	100%	100%	-			
総合戦略	H29年度				H30年度				改善目標	改善目標	その他の指標	-
	-	-	-	-	H30年度に予定しているアクションプランの改訂を見据え、「地域のアイデア・市民力」の強化を含めた各施策の問題点を洗い出す。							
市長公約	-											
個別計画	つくば環境スタイル“SMILe”(つくば市環境モデル都市行動計画)											
根拠法令等	-											
事業分類	A 任意的事业											
執行体制	職員のみ											
事業の目的	つくば環境スタイル“SMILe”の目標である2030年に市民一人あたりのCO2の50%削減の達成に向けて、計画に掲げられた施策を円滑に進めるため。また、低炭素社会の先行的なモデルを具体的に分かりやすく示し、情報発信を行うという環境モデル都市としての役割を果たすため。											
	事業の概要	つくば市環境都市推進委員会、国際戦略総合特区及び環境モデル都市推進本部会議、環境モデル都市推進プロジェクト会議を通じて、つくば環境スタイル“SMILe”に掲げられた施策の進捗状況を把握し、評価、見直しを行う。その成果を国へ報告し、国の評価を経て公表するほか、各施策について市のパンフレットやホームページ等で情報発信を行う。										
ISO 14001		H29 環境関連性	-									
	H30 環境関連性	-										
活動実績	つくば市環境都市推進委員会において、環境モデル都市アクションプランの報告書案を作成し、内閣府への報告、ヒアリング対応を行った。なお、次年度の事業計画については、環境基本計画等と合わせて検討した。											
	成果	内閣府への報告及びヒアリング対応により、環境モデル都市アクションプランの現状と課題を把握するとともに、今後の方針について参考意見をうかがうことができた。										
課題		環境モデル都市アクションプランは、3か年目の実績報告を行ったが、年々進捗は悪くなっているため、次年度以降の計画改定に向けた課題抽出及び事業の取捨選択を行う必要がある。										
	事業の進捗状況	事業の進捗状況	達成	改善目標の進捗状況	達成	事業の進捗状況	-	改善目標の進捗状況	-			
評価		有効性	【終了】中：適切な成果が得られている				有効性	-				
	効率性	【終了】中：適切な費用対効果が得られている				効率性	-					
	総合評価	—：事業の終了				総合評価	-					
事業実施コスト	事業実施コスト											
	事業費(A)	事業費(A)										
国庫支出金		国庫支出金										
	県支出金	県支出金										
地方債		地方債										
	その他特財	その他特財										
一般財源		一般財源										
	人件費(B)	人件費(B)										
正職員		従事割合	0.00人	0.40人	0.00人	従事割合	0.00人	0.40人	0.00人			
	時間外勤務	時間外勤務	0.00時間	5.75時間	0.00時間	時間外勤務	0.00時間	5.75時間	0.00時間			
臨時職員等		-										
	事業コスト(A+B)	事業コスト(A+B)										
H31年度当初積算根拠		-										
	H31年度の方向性	理由										

予算事業別事務事業評価シート【対象年度：H29年度～H30年度】

部等名	課等名	係等名
政策イノベーション部	科学技術振興課	イノベーション推進係

会計	款	項	目	事業	予算事業名
01	02	01	08	23	科学技術振興に要する経費

要する経費全体	事業実施コスト	H28年度決算	H29年度決算	H30年度当初	H31年度当初
	総事業費	11,743千円	20,582千円	18,432千円	0千円
	総人件費	23,897千円	15,678千円	10,236千円	
	総事業コスト	21,693千円	36,260千円	28,668千円	

事務事業名	01 国際戦略総合特区推進事業				指標名	連携企業数				指標種別	成果指標				指標の概要	つくばにおける科学技術の集積を活用したライフイノベーション及びグリーンイノベーションの推進による産業化促進のための連携企業数 ※平成28年度までの指標は新たなプロジェクト創出数(特区計画延長に伴い、指標を再設定)			
	戦略プラン	IV	11	1	科学技術の振興	目標値	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度	1件			1件	1件	173件
		-	-	-		実績	1件	1件	0件	224件	-								
総合戦略	I	1	1	科学技術の振興によるまちづくり	改善目標	H29年度				H30年度				その他の指標	目標2:事業・産業創出(起業、ライセンスアウト、製品化数)件数(H29年度 8件→H32年度 23件) 目標3:事業化に伴う株式公開(IPO)件数(H29年度 0件→H32年度 1件)				
		-	-	-			改善目標	各プロジェクトの成果を活用した事業化及び産業化の推進				改善目標	国等の支援施策(財政、金融、税制及び規制緩和)の活用を提案し、各プロジェクトの事業化や産業化をさらに推進する。						
市長公約	-				事業計画	TGIを中核とし、各プロジェクトの進捗に合わせて事業化や産業化の推進に適した国の施策(財政、金融、税制及び規制緩和)を活用する。また、技術相談窓口を市内工業団地企業等を中心に案内し、利用を促す。	事業計画	市・県・TGIが連携し、各プロジェクトの進捗に合わせて事業化や産業化の推進に適した国や市の支援施策(財政、金融、税制及び規制緩和)の活用を提案する。また、技術相談窓口について、市内企業への案内を行う。				内訳	事業実施コスト	H28年度決算	H29年度決算	H30年度当初	H31年度当初		
個別計画	総合特別区域計画							活動実績	・内閣府に新規特区プロジェクトの追加及び国の施策活用の提案。 ・つくば国際戦略総合特区成果発表会を開催した。 ・市内の製薬系の工業団地企業に対する技術相談窓口の周知。 ・TGI内に設置したワンストップ技術相談窓口対応件数: 41件 ・つくば市認定国際戦略総合特別区域計画の推進に関する条例の一部改正(期限延長)。	上半期活動実績	-				事業費(A)	11,576千円	12,800千円	12,677千円	0千円
根拠法令等	総合特別区域法				成果	・新規特区プロジェクト(バイオ・マテリアル植物生産プロジェクト)への財政支援(約1.4億円)を獲得した。 ・技術相談窓口対応が、企業等の事業支援や共同研究のマッチングなどにつながっている。	上半期成果	-				国庫支出金	0千円	0千円	0千円	0千円			
事業分類	A 任意的事业							課題	各プロジェクトの事業化や産業化を推進するため、引き続き国等の支援施策(財政、金融、税制及び規制緩和)の活用を提案していく必要がある。	課題	-				県支出金	0千円	0千円	0千円	0千円
執行体制	職員のみ				事業の概要	組織の垣根を超えた新しい産学官連携の仕組みのもとで、システムの核となる組織((一社)つくばグローバルイノベーション推進機構:TGI)を設立し、研究インフラの共用化等の基盤となるサービスの提供を行う。これにより、特区プロジェクト等を推進するとともに、新たなプロジェクトを創出・推進することにより、新事業・新産業の創出に取り組む。	-				-	-	-	地方債	0千円	0千円	0千円	0千円	
事業の目的	つくばを変える新しい産学官連携システムを構築するとともに特区プロジェクトに取り組み、成果を上げ、ライフイノベーション・グリーンイノベーション分野で我が国の成長・発展に貢献する。「特区プロジェクト」の推進により、生じた課題・問題点を「つくばを変える新しい産学官連携システム」の構築にフィードバックし、つくばの科学技術の集積から新事業・新産業が生まれ出されていく、新しいシステムを確立するため。							-	-	-				-	-	その他特財	0千円	0千円	0千円
事業の概要	H29環境関連性	-		-		事業の進捗状況	達成				改善目標の進捗状況	達成	-			改善目標の進捗状況	-	一般財源	11,576千円
		-		-			有効性	中:適切な成果が得られている		有効性	-			人件費(B)	10,117千円			3,870千円	3,870千円
ISO 14001	H30環境関連性	-		-		評価	効率性	中:適切な費用対効果が得られている		-	-	-	正職員	従事割合	1.20人	0.50人	0.50人		
		-		-			総合評価	B:成果・費用対効果の向上に努めつつ継続実施					総合評価	-		時間外勤務	500.00時間	125.00時間	125.00時間
													臨時職員等	有	無	無			
													事業コスト(A+B)	21,693千円	16,670千円	16,547千円			
													H31年度当初積算根拠	-					
														H31年度の方向性	-	理由	-		

予算事業別事務事業評価シート【対象年度：H29年度～H30年度】

要する経費全体	事業実施コスト	H28年度決算	H29年度決算	H30年度当初	H31年度当初
	総事業費	11,743千円	20,582千円	18,432千円	0千円
	総人件費	23,897千円	15,678千円	10,236千円	
	総事業コスト	21,693千円	36,260千円	28,668千円	

部等名	課等名	係等名
政策イノベーション部	科学技術振興課	科学の街推進係

会計	款	項	目	事業	予算事業名
01	02	01	08	23	科学技術振興に要する経費

事務事業名	02	科学技術振興指針(第2期)策定事業	指標名	科学技術振興指針の策定				指標種別	成果指標	指標の概要	科学技術振興指針の策定			
戦略プラン	-		目標値	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度			H32年度		
	-		実績	-	-	-	-	-	-			-		
総合戦略	I	1	科学技術の振興によるまちづくり	H29年度				H30年度						
	-		改善目標	・パブリックコメントを実施し、寄せられた意見の指針への反映を検討する。				改善目標 ロードマップに規定した事業が適切に進行するよう進捗管理を行う。						
	-		その他の指標	-										
市長公約	-		事業計画	4月～5月 パブリックコメントの実施 5月 第5回策定懇話会 5月 庁議において審議 第2期指針の承認				進捗管理表に基づき、定期的に進捗確認を行う						
個別計画	-			活動実績	4月～5月 パブリックコメントの実施 5月 第5回策定懇話会 5月 庁議において審議 第2期指針の承認				上半期活動実績					
根拠法令等	-				成果	科学技術振興指針(第2期)の策定				上半期成果				
事業分類	A 任意的事业		課題	-				-						
執行体制	職員のみ			事業の目的	「つくば市科学技術振興指針」(平成24年度～平成28年度)の計画期間満了に伴って、「つくば市科学技術振興指針(第2期)」を策定する。				-					
事業の概要	-		事業の概要		国の第5期科学技術基本計画において、筑波研究学園都市等に対し、イノベーションを生み出す環境の形成について、変革に向けた自律的な取組を求める旨が明記されたこと等を踏まえ、外部有識者の意見を聴きつつ、科学技術イノベーション都市への転換を見据えた10年後の「つくば」をデザインする。				-					
				-				-						
ISO 14001	H29 環境関連性	-		事業の進捗状況	達成	改善目標の進捗状況	達成	事業の進捗状況	-	改善目標の進捗状況	-			
	H30 環境関連性	-		評価	有効性	【終了】中：適切な成果が得られている	有効性	-	効率性	-	効率性	-		
				総合評価	—：事業の終了		総合評価	-		-				
										H31年度当初積算根拠	H31年度当初積算根拠			
										事業実施コスト	H28年度決算	H29年度決算	H30年度当初	H31年度当初
										事業費(A)	167千円	3,361千円	0千円	0千円
										国庫支出金	0千円	0千円	0千円	0千円
										県支出金	0千円	0千円	0千円	0千円
										地方債	0千円	0千円	0千円	0千円
										その他特財	0千円	0千円	0千円	0千円
										一般財源	167千円	3,361千円	0千円	0千円
										人件費(B)	13,780千円	5,417千円	0千円	
										正職員	従事割合	1.70人	0.70人	0.00人
										時間外勤務	500.00時間	175.00時間	0.00時間	
										臨時職員等	有	無	無	
										事業コスト(A+B)	0千円	8,778千円	0千円	
										H31年度当初積算根拠	-			
										H31年度の方向性	-	理由	-	

予算事業別事務事業評価シート【対象年度：H29年度～H30年度】

要する経費全体	事業実施コスト	H28年度決算	H29年度決算	H30年度当初	H31年度当初
	総事業費	11,743千円	20,582千円	18,432千円	0千円
	総人件費	23,897千円	15,678千円	10,236千円	
	総事業コスト	21,693千円	36,260千円	28,668千円	

部等名	課等名	係等名
政策イノベーション部	科学技術振興課	イノベーション推進係

会計	款	項	目	事業	予算事業名
01	02	01	08	23	科学技術振興に要する経費

事務事業名	03	Society 5.0社会実装トライアル支援事業	指標名	フィールド実験の実施件数				指標種別	成果指標	指標の概要	「Society 5.0(超スマート社会)」の実現を目指したフィールド実験の実施件数			
戦略プラン	-	-	-	-	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度			H31年度	H32年度	
	-	-	-	-	-	-	-	5件	5件			5件	5件	
総合戦略	I	1	1	科学技術の振興によるまちづくり	H29年度				H30年度				その他の指標	-
	-	-	-	-	改善目標	-				改善目標	・積極的に事業の広報活動を行う。 ・採択者決定までのスケジュールを前倒しし、フィールド実験を長く確保する。			
市長公約	No.65				事業計画	5月～7月 事業周知 6月～7月 企画提案の公募 8月～9月 1次審査 9月～10月 最終審査 11月～3月 トライアル支援・実施				事業計画	5月～6月 事業周知 5月～6月 企画提案の公募 7月 1次審査 8月 最終審査 9月～3月 トライアル支援・実施			
個別計画	第5期科学技術基本計画 科学技術振興指針(第2期)					活動実績	5月～7月 事業周知・前年度成果発表会 6月～7月 企画提案の公募 8月 1次審査 10月 最終審査 11月～3月 トライアル支援・実施				上半期活動実績	-		
根拠法令等	Society 5.0社会実装トライアル支援事業実施要項				成果		「Society 5.0」という新たな社会システムの実現と、社会課題解決の実現のために開始した新規事業であったが、ニーズの掘り起こしに成功し、最先端技術の社会実装を目指したフィールド実験の実施につながった。					上半期成果	-	
事業分類	A 任意的事业					課題	・質の高い提案を5件採択するためには、多くの事業者から提案を確保する必要がある。 ・フィールド実験の期間が4か月と短くなってしまったため、スケジュールを見直す必要がある。				課題		-	
執行体制	職員のみ				事業の進捗状況		達成	改善目標の進捗状況	-	事業の進捗状況		-	改善目標の進捗状況	-
事業の目的	民間の創意工夫を生かした「Society 5.0」に係る社会実装に向けたトライアル(=実証実験)を公募し、優れたトライアルを支援するとともに、当該トライアルの実施主体と地域企業等との連携及び当該トライアルの核となる革新的な技術やアイデアの実用化を推進することにより、市民生活の向上及び地域経済の活性化さらには先進的な取組に挑戦するまちとしてのプレゼンスを確立する。				評価	有効性	中:適切な成果が得られている	評価	有効性	-				
事業の概要	IoTやAIなどの最先端技術による先進的なフィールド実験を全国から公募し、実験場の提供やモニターの確保、費用補助等の支援を行う。				評価	効率性	中:適切な費用対効果が得られている	評価	効率性	-				
ISO 14001	H29環境関連性	-	-	-	総合評価	B:成果・費用対効果の向上に努めつつ継続実施		総合評価	-					
	H30環境関連性	-	-	-	H31年度当初積算根拠					H31年度当初積算根拠	-	理由	-	
					H31年度当初積算根拠					H31年度の方向性	-	理由	-	

予算事業別事務事業評価シート【対象年度：H29年度～H30年度】

要する経費全体	事業実施コスト	H28年度決算	H29年度決算	H30年度当初	H31年度当初
	総事業費	16,928千円	17,489千円	12,473千円	0千円
	総人件費	9,467千円	11,608千円	11,608千円	
	総事業コスト	26,395千円	29,097千円	24,081千円	

部等名	課等名	係等名
政策イノベーション部	科学技術振興課	イノベーション推進係

会計	款	項	目	事業	予算事業名
01	02	01	08	33	ロボットの街つくば推進に要する経費

事務事業名	01 ロボットの街つくば推進事業			指標名	ロボットのまち中実証実験数(種類)				指標種別	成果指標	指標の概要	ロボットのまち中実証実験数(種類)																																																																			
	戦略プラン	IV	11	2	ロボットの街つくばの推進	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度		H31年度	H32年度	※平成26年度までの指標は、実験回数:実験を行ったのべ回数、実験走行距離:実験を行ったのべ走行距離																																																																	
		-	-	-		実績	153回、3,635km	9件	9件	7件	-																																																																				
総合戦略	I	1	1	科学技術の振興によるまちづくり	H29年度				H30年度				その他の指標	規制緩和申請件数																																																																	
	-	-	-		改善目標	セグウェイ等については地方創生に資する観光ツアー等の実利用を推進する。また、研究開発段階のロボットの実証実験の呼び込みを強化し、企業等とのマッチングを通じたビジネスチャンスの創出を目指す。				改善目標	規制緩和の要請やハード整備によって新たに培われた実証実験フィールドを活用して、研究開発段階のロボットの実証実験の呼び込みを強化し、製品・サービスの社会実装に向けた支援を行う。																																																																				
市長公約	-				事業計画	<ul style="list-style-type: none"> ・モビリティロボットを活用した取組、活用する企業等を拡大した実証実験の実施 ・自治体等へのモビリティロボットスタートアップ応援事業による、多数の地域から規制緩和を求める協働ネットワークの構築 ・ロボット革命イニシアティブ協議会WG参加 ・つくばチャレンジ2017の開催 ・科学技術振興指針(第2期)に掲げるロボットクロスロード構想の実現に向けた取組の実施 				事業計画	<ul style="list-style-type: none"> ・歩行者信号情報発信装置を活用した新たな実証実験の実施 ・平成30年3月の警察庁通達に基づいた、従来にない走行ルートの確立およびそれに基づいた実験の実施 ・ロボット革命イニシアティブ協議会WG参加 ・つくばチャレンジ2018の開催 				<table border="1"> <tr> <td>事業実施コスト</td> <td>H28年度決算</td> <td>H29年度決算</td> <td>H30年度当初</td> <td>H31年度当初</td> </tr> <tr> <td>事業費(A)</td> <td>16,928千円</td> <td>17,489千円</td> <td>12,473千円</td> <td>0千円</td> </tr> <tr> <td>国庫支出金</td> <td>0千円</td> <td>0千円</td> <td>0千円</td> <td>0千円</td> </tr> <tr> <td>県支出金</td> <td>0千円</td> <td>0千円</td> <td>0千円</td> <td>0千円</td> </tr> <tr> <td>地方債</td> <td>0千円</td> <td>0千円</td> <td>0千円</td> <td>0千円</td> </tr> <tr> <td>その他特財</td> <td>0千円</td> <td>0千円</td> <td>0千円</td> <td>0千円</td> </tr> <tr> <td>一般財源</td> <td>16,928千円</td> <td>17,489千円</td> <td>12,473千円</td> <td>0千円</td> </tr> <tr> <td>人件費(B)</td> <td>9,467千円</td> <td>11,608千円</td> <td>11,608千円</td> <td></td> </tr> <tr> <td>正職員</td> <td>従事割合</td> <td>1.10人</td> <td>1.50人</td> <td>1.50人</td> </tr> <tr> <td>内訳</td> <td>時間外勤務</td> <td>531.00時間</td> <td>375.00時間</td> <td>375.00時間</td> </tr> <tr> <td></td> <td>臨時職員等</td> <td>有</td> <td>有</td> <td>有</td> </tr> <tr> <td></td> <td>事業コスト(A+B)</td> <td>26,395千円</td> <td>29,097千円</td> <td>24,081千円</td> </tr> </table>					事業実施コスト	H28年度決算	H29年度決算	H30年度当初	H31年度当初	事業費(A)	16,928千円	17,489千円	12,473千円	0千円	国庫支出金	0千円	0千円	0千円	0千円	県支出金	0千円	0千円	0千円	0千円	地方債	0千円	0千円	0千円	0千円	その他特財	0千円	0千円	0千円	0千円	一般財源	16,928千円	17,489千円	12,473千円	0千円	人件費(B)	9,467千円	11,608千円	11,608千円		正職員	従事割合	1.10人	1.50人	1.50人	内訳	時間外勤務	531.00時間	375.00時間	375.00時間		臨時職員等	有	有	有		事業コスト(A+B)	26,395千円	29,097千円	24,081千円
事業実施コスト	H28年度決算	H29年度決算	H30年度当初	H31年度当初																																																																											
事業費(A)	16,928千円	17,489千円	12,473千円	0千円																																																																											
国庫支出金	0千円	0千円	0千円	0千円																																																																											
県支出金	0千円	0千円	0千円	0千円																																																																											
地方債	0千円	0千円	0千円	0千円																																																																											
その他特財	0千円	0千円	0千円	0千円																																																																											
一般財源	16,928千円	17,489千円	12,473千円	0千円																																																																											
人件費(B)	9,467千円	11,608千円	11,608千円																																																																												
正職員	従事割合	1.10人	1.50人	1.50人																																																																											
内訳	時間外勤務	531.00時間	375.00時間	375.00時間																																																																											
	臨時職員等	有	有	有																																																																											
	事業コスト(A+B)	26,395千円	29,097千円	24,081千円																																																																											
個別計画	つくば市科学技術振興指針(第2期)				活動実績	<ul style="list-style-type: none"> ・ロボット実証実験数(セグウェイシティツアー等) 7件 ・国家戦略特区等の提案に対する関係省庁との協議 ・視察対応 13件 ・ロボット革命イニシアティブ協議会WGへの参画 ・つくばロボットフォーラム2018の開催 ・つくばチャレンジ2017の実施及び新たなつくばチャレンジの計画立案 ・ロボットクロスロード構想を実現するための、歩行者信号情報装置の設置 				上半期活動実績	-																																																																				
根拠法令等	-					成果	<ul style="list-style-type: none"> ・H27年10月に提案し協議を継続していた「車両通行止め道路(自転車を除く)におけるモビリティロボットの走行」がH30年3月の警察庁通達により承認された。 ・つくばロボットフォーラムの開催により、ロボットを街づくりに落とし込む際の課題(各種規制等)が浮き彫りになると共に、ロボット関係者同士のコネクションを構築につながった。 ・全国初の歩行者信号情報発信装置を設置する等、実証実験フィールドの拡大が図れた。 				上半期成果	-																																																																			
事業分類	A 任意的事业				課題		<ul style="list-style-type: none"> ・ロボットの实用化に向けた更なる規制緩和の要請や、市民への新たなサービス提供を実現する支援施策の構築 					課題	-																																																																		
執行体制	職員のみ					事業の進捗状況	達成	改善目標の進捗状況	達成	事業の進捗状況	-		改善目標の進捗状況	-																																																																	
事業の目的	ロボットの实用化の促進や人材育成を図り、もって、超高齢社会への対応、低炭素社会の実現、観光等の地域活性化を図るとともにシティプロモーションに貢献するため。				評価		有効性	高: 成果が向上(高水準を維持)している			評価	有効性	-																																																																		
	事業の概要	つくばモビリティロボット実験特区やつくば国際戦略総合特区の枠組みを活用するなどし、ロボットの実利用に関し、国に規制緩和を要望していく。また、搭乗型移動支援ロボットに関する実証実験やつくばチャレンジ等のロボット実験を推進する。				効率性	中: 適切な費用対効果が得られている			効率性		-																																																																			
ISO 14001		H29 環境関連性	-			総合評価	A: 成果を維持して継続実施			総合評価	-				H31年度当初積算根拠																																																																
	H30 環境関連性	-																																																																													
											H31年度当初積算根拠																																																																				
											H31年度の方向性	-	理由	-																																																																	

予算事業別事務事業評価シート【対象年度：H29年度～H30年度】

部等名	課等名	係等名
政策イノベーション部	科学技術振興課	科学の街推進係

会計	款	項	目	事業	予算事業名
01	02	01	08	20	科学の街つくば推進に要する経費

要する経費全体	事業実施コスト	H28年度決算	H29年度決算	H30年度当初	H31年度当初
	総事業費	17,860千円	16,177千円	23,287千円	0千円
	総人件費	27,842千円	26,955千円	26,846千円	
	総事業コスト	45,702千円	43,132千円	50,133千円	

事務事業名	01 市内大学・研究機関等との連携事業				指標名	新規協定締結数(件)				指標種別	活動結果指標				指標の概要	市内大学・研究機関等との基本協定(包括協定)の新規締結数					
	戦略プラン	IV	11	1	科学技術の振興	目標値	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度								
		-	-	-	-	実績	1	0	0	1	-										
総合戦略	-				改善目標	H29年度				H30年度				その他の指標	-						
							・市内大学・研究機関等と連携し、つくばの科学技術の魅力を集結し、効果的に発信する。				・市内大学・研究機関等と連携し、つくばの科学技術の魅力を集結し、効果的に発信する。										
市長公約	-				事業計画	・アウトリーチ活動への支援等を通じて、連携を強化する。 ・新規で基本協定を締結する。 ・冊子や映像等、各種広報媒体を作成・活用し、情報発信する。				・アウトリーチ活動への支援等を通じて、連携を強化する。 ・新規で基本協定を締結する。 ・冊子や映像等、各種広報媒体を作成・活用し、情報発信する。 ・科学の街つくばPR動画の作成 ・科学教育支援事業の創設・実施				事業実施コスト	H28年度決算	H29年度決算	H30年度当初	H31年度当初			
個別計画	つくば市科学技術振興指針					-				-				事業費(A)	945千円	4,671千円	6,875千円	0千円			
根拠法令等	科学技術基本法, 総合特別区域法, つくば市認定国際戦略総合特別区域計画の推進に関する条例				活動実績	随時 筑協事務局業務(週2回1名派遣)、研究機関のアウトリーチ活動の広報支援 4月 住民向け研究機関ポスター展示 KEK Belle2測定器ロールインイベント出席、凸版印刷デモ展示 5月 産総研・HTCE(オランダ)MOU締結式出席 6月 イノベーションワールドフェスタ2017後援、筑協委員会、幹事会、総会出席 7月 SATフォーラム2017、県・市・サイバーダインの3者連携協定締結 8月 金井宇宙飛行士との連携事業、森林総合研究所との連携事業検討 11月 筑波会議企画委員会へのつくば市の参加決定 12月 金井宇宙飛行士パブリックビューイング実施(打ち上げ、ISS入室) 1月 筑協幹事会 2月 テクノロジー・ショーケース2018参加 国総研パネル展示、JAXA大西宇宙飛行士の市長表敬訪問 3月「科学の街つくば」PR展示				上半期活動実績				内訳	国庫支出金	0千円	0千円	0千円	0千円		
	事業分類	A 任意的事業				-				-					県支出金	0千円	0千円	0千円	0千円		
執行体制	職員のみ				成果	年間を通し、研究機関との間で、市役所でのパネル展示や市内小中学校への刊行物の配布協力など、アウトリーチ活動の支援を中心とした具体的な連携事業を実施し、協力関係を強化することができた。特に、産総研やJAXA等市内研究機関との間で共同事業の実施や事業運営協力を行ったことで、市内の知の集積を生かした連携に取り組むことができた。また、新たに森林総合研究所等と連携事業を模索することで、行政サービスの向上や研究機関と市民協働の可能性を広げた。現在、新たな研究機関との基本協定締結に向けて協議を進めている。				上半期成果				地方債	0千円	0千円	0千円	0千円			
事業の目的	筑波研究学園都市は、国際的な研究開発拠点として整備を進めてきたが、一層の発展に向けて機能強化を図る必要がある。さらに、我が国最大の研究機関等の集積を活かして、人材や研究インフラを有機的に結び付け、世界をリードする独自の・先端的な研究開発やイノベーションの創出を図ることが期待されている。このため、研究機関等との連携を戦略的に進めることにより、技術成果・実証や社会的課題の解決に専門的知見を活用した行政体制の構築、防災体制の強化等に資する。					課題	・大学や研究機関等の広報・産学官連携部門との関係強化 ・新たな研究機関との基本協定の締結 ・研究者を中心としたつくば人紹介動画コンテンツの作成				-				その他特財	0千円	0千円	0千円	0千円		
	事業の概要	市内各大学・研究機関のそれぞれの特徴を生かしながら、基本協定の締結や連携事業を推進する。 ・市内研究機関等との基本協定締結 ・つくば市研究機関等防災連絡会 ・筑波研究学園都市交流協議会事務局業務 ・筑波研究学園都市情報集約・分析事業 ・各機関のアウトリーチ活動支援 ・横断幕や街路灯バナーの展開 ・つくばサイエンスアカデミー					-				-				一般財源	945千円	4,671千円	6,875千円	0千円		
ISO 14001		H29 環境関連性	-			事業の進捗状況	達成	改善目標の進捗状況	達成	事業の進捗状況	-	改善目標の進捗状況	-	人件費(B)	7,955千円	7,800千円	7,764千円				
	H30 環境関連性	-			評価	有効性	中:適切な成果が得られている		評価	有効性	-		正職員	従事割合	1.00人	1.00人	1.00人				
													臨時職員等	無	無	無					
													事業コスト(A+B)	8,900千円	12,471千円	14,639千円					
													H31年度当初積算根拠	-				H31年度の方向性	-	理由	-
														-							

